

温泉可燃性天然ガスの

平成22年3月末までに
対策の完了が義務付け!!

安全対策は万全ですか？

平成20年10月に**温泉法**が改正され、可燃性天然ガスに対する安全対策が厳しく規制されました。

規定以上の可燃性ガスが確認された温泉ではガスを温泉水から分離し、安全に大気拡散させる設備を設置する事が**義務付け**られました。

特許出願中

平成20年10月改正
温泉法対応ガスセパレーター

EGS・V100 シリーズ

ガスセパレーター-EGS・V100シリーズは…

従来の密閉タンクの上部に排気管を設け上部から温泉水を落す仕組みではなく、溶存するメタンガスを強制的に排出する **新技術（ジェットバブリング方式）**です。ジェットで放出し受け側の水槽で攪拌することにより5% LEL以下（法定値）までメタンガスを放出します。



EGS・V100シリーズ6つのポイント

軽量・コンパクト

既存の屋外貯湯槽上部への設置が可能です。設置スペースの問題を解決します。

スケールに強い

内部にろ材を備えていない為、スケール障害には有利です。スケールが付着しても水道水などの洗浄で簡単に清掃可能です。

温泉成分維持に優れる

接触部分が多いろ材に成分が付着するような構造ではない為、成分がそのまま次の水槽や浴槽に移送されます。

温度変化が少ない

連続で分離後すぐに水槽や浴槽に移送されます。装置内に滞留する時間が短いため温度降下は僅少。1℃以下とお考え下さい。

強制排気で排気濃度安全設計

自然排気の場合、分離後の内部滞留ガス濃度は上がり易く危険度が増しますが、当製品は大気放出するファンを備えているので安全です。

簡単メンテナンス

ノズルを取り出し水とブラシで洗浄します。内部タンクも同様に洗浄。ノズルの汚れが落ちなくなった頃が部品交換の目安です。